

2019年2月号へのご意見

* 2019年3月時点の情報です。

カリキュラム・マネジメントの重要性を実感

2月号の特集での「大学入学共通テスト」の試行調査の問題分析は、今後の授業のあり方を考える上で参考になった。従来の指導では補えない部分もあり、単元末に演習問題を取り入れていかなければならない。特に、読解力の育成では、他教科との連携がさらに重要になることから、カリキュラム・マネジメントの必要性を感じた。

静岡県・沼津市立沼津高校 谷野公彦

「読解力」の意味を改めて考える

「読解力」は「問題を読み解く力」と捉えていたが、2月号の特集を読み、教科横断で育成すべき読解力と、各教科・科目で育成すべき読解力があり、学校が組織的に育成しないと身につかないと実感した。

栃木県立茂木高校 阿久津功

他教科との共通点を発見

2月号の特集の座談会が参考になった。私は英語科担当だが、国語科担当の先生が言われていた「多彩なジャンルの文章を読む機会を増やすとともに、精読も必要」というのは、英語にもあてはまる。英字新聞から広告、学術論文、SF小説まで読ませ、生徒の感性を磨いていきたいと思った。

和歌山県立橋本高校 寺田順子

「読解力」とは何か？

「読解力」があるかどうかは感覚的に分かるが、「読解

力」を定義し、その向上を評価する指標の設定は難しい。また、「読解力」の必要性を教師間で共通認識を持つことも難しい。2月号の特集は、そうした現状を理解することに意義があったと思う。

福岡県・福岡市立博多工業高校 森永明子

三者面談を有意義にするシートの工夫

普段得られない情報を三者面談で保護者から引き出すためにも、2月号の「改良！ 指導ツール ピフォーアフター」で取り上げられたような三者面談シートが必要だ。生徒の3年間の履歴を見ることができ、意識と行動の変化に結びつく記入法を模索していたので、2月号のシートを参考にしたい。

鹿児島県 匿名希望

クィア・スタディーズとは何かを記事で勉強

教育現場では、ジェンダーフリーを掲げておきながら、ジェンダーやセクシュアリティについて触れるのは学校としてふさわしくないとする雰囲気や伝統的な男女観が残っている。我々教師の理解も乏しく、生徒に正確な情報を提供することが難しいのが現状だ。そうした中、「大学の学び 最新ナビ」の早稲田大学文化構想学部の記事で、「クィア・スタディーズ」がどんな学問なのかを知ることができ、ありがたかった。生徒に正しい進路指導をするためにも、新しい学問分野について勉強することが大切だと改めて思った。

静岡県立御殿場高校 美那川雄一

OFF SHOT



今号から、高校の先生が小学校や中学校など、校種の異なる学校を訪れ、新たな指導のヒントをつかんでいただくことを目指したコーナー「高校教師 study-tour」をスタートさせました。初回は、STEM/STEAM教育(*)でも注目されているプログラミング教育です。次期学習指導要領を見据え、高校でも関心が高まっているプログラミング教育を先行して進めている小学校の取り組みから、高校の先生に気づきを得ていただきたく、取り上げました。取材が始まると、お互いの共通する点や異なる点に刺激を受け、また、本質的な部分で小学校と高校のご指導がつながっていることが分かり、2人の先生が共感し合われている姿に、この企画を実現させてよかったと思いました。ご協力いただいた両先生に感謝します。次号も先生方の刺激となる異校種取材が行えるよう頑張っております！ (西村)

『VIEW21』高校版 公式アカウント

LINE@

友だち募集中！

『VIEW21』高校版や教育に関連する最新情報をタイムリーにお届けします。*お友だちの登録方法は、右の2次元バーコードを読み取っていただくか、LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」とご入力いただき、追加をお願いいたします。



VIEW21 高校版 2019 6 月号

次号は6月20日発行(予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です